

みずほCustomer Desk Report 2021/12/06号(As of 2021/12/03)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	113.14
				GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	113.03	1.1307	127.74	1.3298	0.7086
SYD-NY High	113.61	1.1334	128.33	1.3311	0.7095
SYD-NY Low	112.56	1.1267	127.39	1.3209	0.6994
NY 5:00 PM	112.86	1.1311	127.63	1.3232	0.7001
NY DOW	34,580.08	▲ 59.71	日本2年債	-0.1200	0.00bp
NASDAQ	15,085.47	▲ 295.85	日本10年債	0.0500	▲1.00bp
S&P	4,538.43	▲ 38.67	米国2年債	0.5923	▲2.14bp
日経平均	28,029.57	276.20	米国5年債	1.1384	▲6.23bp
TOPIX	1,957.86	31.49	米国10年債	1.3556	▲8.79bp
シカゴ日経先物	27,790.00	▲ 115.00	独10年債	-0.3810	▲0.45bp
ロンドンFT	7,122.32	▲ 6.89	英10年債	0.7445	▲6.70bp
DAX	15,169.98	▲ 93.13	豪10年債	1.6230	▲2.90bp
ハンセン指数	23,766.69	▲ 22.24	USDJPY 1M Vol	7.66	0.16%
上海総合	3,607.43	33.60	USDJPY 3M Vol	7.52	0.06%
NY金	1,783.90	21.20	USDJPY 6M Vol	7.47	0.04%
WTI	66.26	▲ 0.24	USDJPY 1M 25RR	-1.16	Yen Call Over
CRB指数	220.642	1.10	EURJPY 3M Vol	7.68	0.00%
ドルインデックス	96.12	▲ 0.04	EURJPY 6M Vol	7.93	▲0.05%

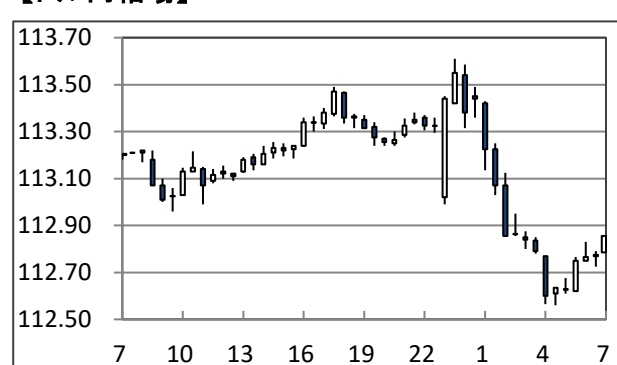
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
12月3日	17:55	独 マーケットPMI(サービス業/コンポジット)	11月 52.7/52.2	53.4/52.8
	19:00	欧 小売売上高(前月比)	10月 0.2%	0.3%
	22:30	米 非農業部門雇用者数変化	11月 210k	550k
	22:30	米 失業率	11月 4.2%	4.5%
	22:30	米 平均時給(前月比/前年比)	11月 0.3%/4.8%	0.4%/5.0%
12月4日	00:00	米 製造業受注(前月比)	10月 1.0%	0.5%
	00:00	米 製造業受注(除輸送)	10月 1.6%	0.6%
	00:00	米 耐久財受注(前月比)・確報	10月 -0.4%	-0.5%
	00:00	米 耐久財受注(除輸送用機器)・確報	10月 0.5%	0.5%

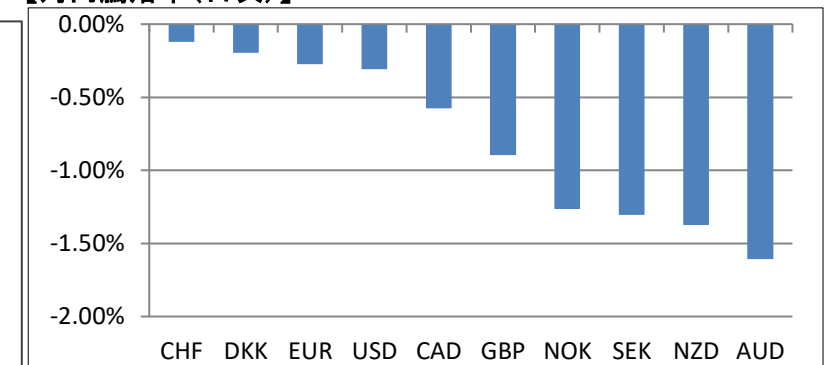
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
12月6日	16:00	独 製造業受注(前月比)	10月 -0.3%	1.3%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	112.20-113.60	1.1200-1.1350	127.00-128.50

【マーケットインプレッション】

先週末のドル円はNY時間に乱高下。日柄実需のドル買いや日経平均のプラス圏浮上などを眺めつつ東京時間から113円前半で底堅く推移するも、NY時間に発表された米11月雇用統計の内容やオミクロン変異株拡大に対するリスクオフで値動きの荒い展開に。米11月雇用統計では非農業部門雇用者数が市場予想を大きく下振れ直後はドル売りで反応し113.00付近まで急落するも、失業率は4.2%まで改善し、労働参加率も上昇していたことなどから113.61まで急速に買い戻し。しかしその後はオミクロン変異株への世界的な拡大懸念からリスクオフが高まり株式市場の軟調推移に米金利も低下し、ドル売りが再燃しドル円は112円半ばまで下落する展開となった。

本日については、引き続きオミクロン変異株の拡大に対するリスクオフ色の濃い相場につきドル円は上値の重み推移を予想。症状やワクチン効果に関する一部報道があるも、目先感染拡大フェーズにおいてはリスクオフに傾倒せざるを得ず、米金利の低下(10年債利回りは先週末1.34%と9月下旬水準まで低下)も眺めつつ短期的にドル円は下落シナリオを想定しておきたい。

東京	東京時間のドル円は113.03レベルでオープン。米国内でのオミクロン株感染の追加ヘッドラインを受け売りが先行し一時112.96まで下落するも、仲値にかけては日柄実需のドル買いにサポートされ113円台に戻す展開。その後は米雇用統計を控えた様子見感から113円前半で一進一退の動きとなり、113.24レベルで海外時間へ。
ロンドン	本日ロンドン市場ドル円は113.24レベルでオープン。堅調に推移した米長期金利と共にドル円も上昇。一時は113.49まで上げるも、米雇用統計を控え様子見ムードの中25銭以内の小幅推移となり113.33レベルでNYへ渡った。
ニューヨーク	113.33レベルでNYオープン。朝方は米11月雇用統計の結果が発表され、非農業部門雇用者数が予想を大幅に下回ったことを受けてドル売りで反応し、112.99まで下落するが、失業率や労働参加率が改善しており、FRBのテーバリングの軌道は変わらずとの見方からその後はドル買いが強まり、113.61まで反発する。しかし、IT・ハイテク株主導で米株が売り込まれ、米長期金利が1.4%を下抜けるとリスクオフの円買いが強まり、113円を割り込んだ。午後米金利低下と米株の下値模索を展開が継続する中、ドル円は112.56まで安値を更新するが、週安値(112.54)手前で下げ渋る。終盤にかけてダウ平均が下げ幅縮小すると、円買いが巻き戻され、結局、112.86レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは1.1300を挟んだ狭いレンジで取引され、1.1297レベルでNYオープン。朝方は米雇用統計発表直後にドル売りで反応したこと高値の1.1334をつけるが、滞空時間は短く、1.1267まで反落。しかし、米金利が低下に転じるとユーロドルも買い戻され、1.13台まで戻す。午後は米金利低下が続く中、1.1327まで上昇するも、米株安を受けて下落するユーロ円が重しとなり、更なる上値追いは限定的だった。終盤は小幅反落し、1.1311レベルでクロス。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 上遠野・鈴木